

## プログラム詳細

12:30～ 会場開室 総合司会 <sup>みやげ ひろゆき</sup> 三宅 宏幸 同志社大学准教授

13:00～ 開会の辞 <sup>やまだ かずひと</sup> 山田 和人 同志社大学名誉教授

13:10～ **第1部** 実践報告会 **こんな手もあったのか！ 古典教育の方法**  
「古典の面白さを伝えたい！」「和本やくずし字を使った授業？そんなの私が本当に使えるの？」  
と思いませんか？ 第一部では、実物の和本を利用した実践や古典の魅力を発信する活動をご  
紹介いただき、楽しく面白く奥深い古典の世界を皆さんと共有したいと思います。

報告者 <sup>あだち しょうじ</sup> 足立 翔治 奈良県立国際中学校・高等学校教諭

「古典との出会いは和本から！——生きた古典との対話が学ぶ意欲を高める」

<sup>おおつば まい</sup> 大坪 舞 佐世保工業高等専門学校准教授

「理系学生と考える古典——調べ、つなげ、つくる」

<sup>えぐち もえ</sup> 江口 萌 成蹊大学文学部日本文学科 ひらのゼミ

「古典×エンターテインメント——学んで、伝えて、身につく社会人力」

コメンター <sup>かとう ただし</sup> 加藤 直志 名古屋大学教育学部附属中学校・高等学校教諭

～14:30 司会 <sup>かとう ゆみえ</sup> 加藤 弓枝 名古屋市立大学大学院准教授

15:00～ **第2部** 出版記念座談会 **作家さんと読む古典文学**

古典教育や古典研究の専門家だけではなく、現代の小説やアニメ・マンガなど国内外を問わず活躍するクリエイターが見つけた古典の魅力を切り口に、古典の魅力をひろく伝えていくことができないか。今回は直木賞受賞作家門井慶喜氏を迎え、こどもたちに伝えたい古典の魅力について考えましょう。

【門井慶喜】群馬県生まれ。同志社大学文学部文化学科文化史学専攻（現・文学部文化史学科）卒業。2003年にオール讀物推理小説新人賞を受賞しデビュー。2018年に宮沢賢治の父を描いた『銀河鉄道の父』で第158回直木賞を受賞。

～16:30



<sup>かどい よしのぶ</sup> 門井 慶喜  
直木賞受賞作家



<sup>おおくぼ みき</sup> 大久保 美希  
ポプラ社編集者



<sup>うえき ともち</sup> 植木 朝子  
同志社大学学長



<sup>やまだ かずひと</sup> 山田 和人 ● 司会  
同志社大学名誉教授

運営サポート 文学通信

**4月1日発売予定！** 当センター監修『作家さんと日本の古典を読んでみた！』ポプラ社

厳選された12シーンの「原文」+「逐語訳」、万城目学さん・角田光代さん・門井慶喜さんら著名作家3名による書き下ろしの「現代語訳」+「語訳のポイント」を1見開きに掲載！ それぞれを比較しながら読み進められる、これまでにない画期的なつくりの書籍です。古典の基礎知識が自然と身につく、イラストや画像資料を使ったビジュアル解説も充実。総ルビ対応で小学生から大人まで幅広く楽しめる、古典教材の決定版です！



参加費 **無料**

募集人数 **対面200名（先着順）／オンライン200名（先着順）**

申込方法 **2024年3月20日（水）までに下記の「同志社大学古典教材開発研究センター」のWEBサイト(右QRコード)へアクセスのうえ、参加申込フォームからお申し込みください。**

URL ● <https://kotekiri20.wixsite.com/cdemcjl/event-8>



問合せ先 同志社大学文学部国文学科 三宅研究室内 コテキリの会事務局  
〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入 Email:kotekiri20@gmail.com